

豊小だより

笑顔いっぱい！
やる気いっぱい！
友だちいっぱい！



「目標を立て、挑戦する2学期にしよう！！」

40日間の夏休みを終え、子どもたちの笑顔と元気な声が校舎に戻ってきました。全員が無事に2学期を迎えられたことは何よりうれしいことです。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。新型コロナウイルス感染症の感染拡大、気温35℃を超える猛暑、東京オリンピックとパラリンピック、大雨による土砂災害など、様々なことのあった夏休み期間でした。本日から2学期の始業となりますが、新型コロナウイルス感染症対策をしながら学習活動に取り組むことになります。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いします。さて、2学期始業式では、次のことについて話をしました。ご家庭でもお話いただけると幸いです。

「目標を立て、挑戦する2学期に」

7月23日の開会式を皮切りに、東京においてオリンピックとパラリンピックが開催されました。日本選手はじめ世界各国の一流選手のプレーに皆さんも感動をしたのではないのでしょうか。みなさんはどの競技が印象に残っていますか？私が印象に残っている競技は陸上男子400mリレーです。メダル獲得を期待された日本チームがまさかの棄権となりました。第一走者の多田修平選手から第二走者の山懸亮太選手へのバトンパスがうまくいかずに棄権になったのです。よって、第三走者の桐生祥秀選手、第四走者の小池祐貴選手が走ることはできませんでした。レース後、日本にまさかの「バトンパス」がでたことについて、土江コーチは「金メダルを取ることを目標にして、これまで練習に取り組んできた。金メダルを取るか、それとも失格になるか、ギリギリのラインを攻めていくことを決めていた。」とコメントしておられました。具体的には、バトンを受ける選手が走り出すタイミングを早める作戦で、よりスピードが乗った状態でバトンを受け取れる一方で、早く出過ぎればバトンを繋げないリスクもありました。まさに、日本チームは個人の力を最大限発揮させるために、5年という長い時間をかけて、チームとしてギリギリの挑戦をしたのです。私は、選手たちの目標に対してのひたむきな努力と目標を達成できなかった悔しさを想像し、心が揺さぶられ大きく感動しました。さあ、皆さん。今日から2学期が始まります。ぜひとも「目標を立て、挑戦する2学期」にしてください。目標に向かって努力を重ね、大きく成長してくれることを願っています。

学校は子どもたちの「興味」「関心」を広げる場です。また子どもの挑戦は「自信」「勇気」「夢」に繋がります。新型コロナウイルスという今までに無い困難のなかではありますが、誰もが目標を持ち、努力を重ね活動する学校にしていきたいと考えております。一層のご理解とご協力、ご支援をお願い申し上げます。

豊郷小学校長 中野 泰弘

夏休みわくわく学習会



7月19日(月)、8月2日(月)の2日間実施をいたしました。自分のペースにあわせて、国語や算数のプリントに取り組み復習をしたり、いつもよりも難しい問題にチャレンジしたりしました。大学生や地域ボランティアの方に、子どもたちの学習活動をサポートしていただき、休み時間には、子どもたちから話しかけたり、一緒に遊んだりする姿も見られました。8月2日(月)の3時間目には、1年：わりばしてっぽう、2年：輪ゴムロケット、3年、4年：割り箸円盤銃、5年：スライム、6年：火起こし体験などのわくわく学習を楽しみました。残念ながら、8月23日(月)のわくわく学習会は新型コロナウイルス感染症対策により中止でしたが、『夏休みならでは』の『わくわくする』学習会を開催することができました。